

平成 18 年度 第 4 回理事会議事録

期 日 平成 18 年 4 月 23 日 (日) 11:00 ~ 12:00

場 所 (株)開発工営社 会議室

出席数 理事 24 名の内、出席 20 名、欠席 4 名

議 事

1 . 平成 18 年度事業報告について

< 各委員会の活動状況 >

- ・ 庶務担当理事から「平成 18 年度 事業報告書並びに決算報告書」資料に基づき、各委員会の活動状況について説明があったが、内容については、第 2 回理事会 (2 月 4 日) 及び第 3 回理事会 (3 月 18 日) に各委員長が説明したとおりであることが確認された。

< 試合並びに大会経過 >

- ・ 庶務担当理事から「平成 18 年度 事業報告書並びに決算報告書」資料に基づき、第 61 回国体北海道選手団、平成 18 年度優秀選手、試合並びに大会経過について説明があり確認された。

2 . 平成 18 年度決算報告について

- ・ 会計担当理事から「平成 18 年度 事業報告書並びに決算報告書」資料に基づき、平成 18 年度収支報告について説明がなされた。
- ・ チーム数減少による登録料及び大会参加料の減少についての状況説明があった。
- ・ 有料試合の収支決算書について説明があった。収支決算はマイナスとなった。要因としては、従前からあった関東協会補助金としての横幕広告料が受けられなくなったことが、平成 18 年度の有料試合開催を決定した後に通知を受けたことにより、収入減少とそれに対して十分な対策が取れなかったことが説明された。
- ・ 会計監事から会計監査報告あり会計処理が適性に行われていることが報告され確認された。

3 . 平成 19 年度事業計画について

- ・ 庶務担当理事から各委員会の事業計画、事業計画日程についての最終資料が示され各委員会と確認した。

4 . 平成 19 年度事業予算について

- ・ 会計担当理事から、第 3 回理事会で決議した平成 19 年度収支予算書が示され承認された。
- ・ メディカルソサエティ委員長からドクターバックの予算付けについて再考の要請があった件については、北海道協会の予算付けはないが、大学委員会からの寄贈が決定していること、外部団体からの寄贈についても実現できる状況であることが報告された。なお、次年度の予算付けについては考えていくことが説明された。

5 . 役員改選について

- ・ 理事長から、会長・副会長及び理事長指名理事の改選についての発表があった。会

長・副会長の再任、新理事として橋本定彦氏・津軽敦志氏の新任、吉岡亨氏の退任が示され了承された。

- ・ また、改選に当たって理事長から北海道協会のあり方として、「ボランティアで行っている協会は、権力闘争の場ではなく、理事は地域及び自分のチームの利益代表であってはならない、自分の意見が通らなければ中傷ピラをばらまく輩がいる組織ではない。会員のコミュニケーションを良くとってほしい。あまりこう言う事が生じるならば理事任期中でも更迭もありうる」とのことが示された。

7. その他

<北海道新聞社 購読紹介キャンペーンについて>

- ・ 競技委員長から、北海道新聞社から協力の要請があった「購読紹介キャンペーン」についての説明があった。
- ・ 購読紹介キャンペーンについて協力することが決定された。購読者紹介は支部毎に取りまとめるものとし、運営協力金については北海道協会と支部とに分けることが了承された。

<第3回 全国高等学校合同チーム大会の途中経過について>

- ・ 高校委員会副委員長から、7月20～23日に夕張市で開催される第3回 全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会準備の経過について報告があった。
- ・ ニトリに対して資金援助の要請をしたが得られなかったことが報告された。

<ポロシャツの販売について>

- ・ 庶務担当理事から、財務強化対策の一環として北海道協会からポロシャツの販売を行うことが報告された。
- ・ 販売するポロシャツの見本が示され、サイズ・カラー及び値段については今後詰めていくことが説明され、承認された。

<セントビーツカレッジ交流大会について>

- ・ 高校委員会副委員長から、7月1・6日に開催されるセントビーツカレッジ・全北海道・全札幌交流大会について関係する札幌・富良野・小樽への協力依頼があり、了承された。

<関東学院大学対大東文化大学戦について>

- ・ 理事長から、6月24日に月寒ラグビー場で開催される北海道協会招待の有料試合である関東学院大学対大東文化大学戦の運営に関する説明と要請があった。
- ・ 有料試合については、昨年度から関東協会補助金としての横幕広告料が受けられなくなり財務的に厳しい状態であるが、北海道のラグビーの普及、レベルアップ及び発展に欠かせない事業として積極的に推進する方針を採ることが説明された。
- ・ 財務運営に関しては、北海道協会の財務委員会において有料試合における収益向上について検討を行っていくこと、全理事の協力を得て各地の協賛企業の獲得が要請された。